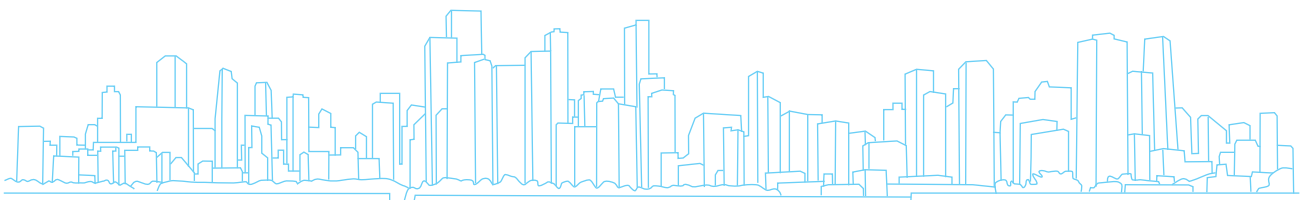




Environmental Report

サクサグループ
環境報告書
2020



目次

■ 目次	2
■ 編集方針	2
■ 会社概要	3
■ 事業概要	3
■ 環境報告書 2020 について	4
■ 環境管理のあゆみ	5
■ 環境管理に影響を及ぼす事業環境等の変化	5
■ ごあいさつ	6
■ サクサグループ環境宣言・環境方針	7
■ サクサグループ環境計画	7
■ 環境保全活動推進組織体制	8
■ 環境マネジメントシステム・ISO14001 認証取得状況	9
■ 製品の環境配慮	10-11
● 環境配慮設計に関わる制度	10
● サクサエコ商品	11
■ 事業活動に関する環境配慮	12-14
● 地球温暖化防止・省エネルギー	12
● 廃棄物削減・循環資源化	12
● 化学物質管理、ポリ塩化ビフェニルの管理、	13
● 規制遵守状況、緊急事態へ対応、環境教育・啓蒙活動	14
■ 2019 年度環境目標達成状況	15
■ 社会貢献活動を通じた環境への寄与	16

編集方針

参照ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン」(2018年版)を可能な範囲において参考にし、作成しています。

公表媒体

本報告書は、紙資源使用抑制の観点から、サクサグループホームページの Web による公開のみとします。
<https://www.saxa.co.jp/> 「環境への取組み」

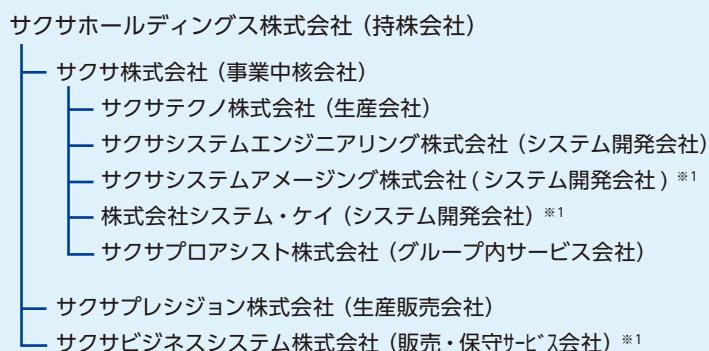
発行日

2021年2月1日

会社概要

■ 商号	サクサホールディングス株式会社
■ 本社所在地	〒108-8050 東京都港区白金一丁目17番3号 NBFプラチナタワー
■ 設立	2004年2月2日
■ 資本金	108億円(2020年3月31日現在)
■ 代表者	代表取締役社長 丸井 武士
■ 年間売上高	393億円(2020年3月期実績・連結)
■ グループ従業員数	1,139名(2020年3月31日現在)
■ 企業理念	独創的な技術を核に、新しい価値を創造し、活力とゆとりある社会の発展に貢献する

サクサグループ
連結決算範囲
(2020年3月31日時点)



*1 サクサグループ環境保全活動推進組織外であるため、本報告書での活動実績には含まれていません。

事業概要

サクサグループは、「独創的な技術を核に、新しい価値を創造し、活力とゆとりある社会の発展に貢献する」を企業理念として掲げ、お客様にとって安心、安全で快適、便利な環境を実現するソリューションをタイムリーに提供し続けることを目指す企業グループです。

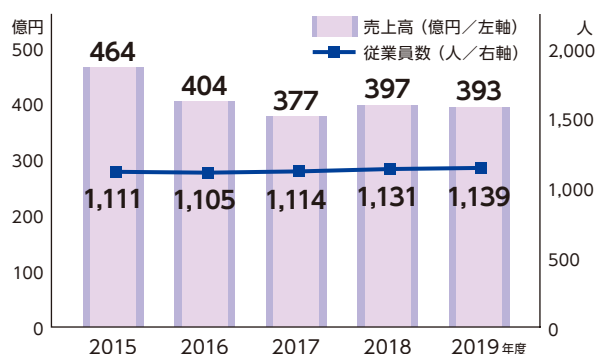
事業領域 <ソリューション・商品>

ネットワークソリューション分野 ▶ 中小規模オフィス向けキーテレホンシステム、IPネットワーク等の製品・サービス、光関連機器、ネットワーク機器、UTM(統合脅威管理アプライアンス)、ネットワークビデオレコーダ、VMS

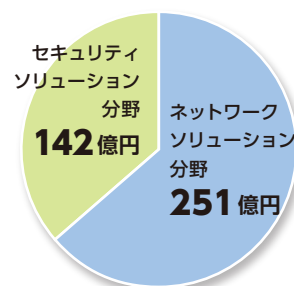
セキュリティソリューション分野 ▶ 警備保障会社向け警備システム、火災通報装置、オートホンシステム、ホームセキュリティシステム、自動音声通報装置、非常通報装置、各種カードR/W、光警報機、センサ関連商品

※会社概要、事業概要等の詳細については、サクサグループホームページ(<https://www.saxa.co.jp/>)の「企業情報」および「株主・投資家の皆様へ」に掲載した公表資料等で、また、ソリューション・商品の詳細は「製品・システム情報」「ソリューション」でご覧になることができます。

サクサグループ売上高・従業員の推移



領域別売上高比率 (2019年度)



環境報告書 2020 について

対象期間

本環境報告書は、2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）における状況、成果等を公開するものですが、内容により、当該年度前後の事項に関するものを含む場合があります。必要に応じ時期を記載します。

活動結果、実績等に関する対象範囲

本報告書に記載した内容は、以下のグループ企業によるものです。必要により、これ以外のグループ企業、拠点等に関する情報を記載する場合は、会社名、拠点名等を記載します。

なお、エネルギー使用量、廃棄物のデータは、自社で直接把握、管理できる範囲としてサクサグループ所有事業場（②～⑥の5事業場）について集計、記載しています。

※商号、所在地およびこれに関わる情報は、2020年4月1日現在のものです。

● 本社（または本社機能）所在地 ● その他の事業所等

	①	②	③	④	⑤	⑥
サクサホールディングス株式会社	●					
サクサ株式会社	●	●	●			
サクサテクノ株式会社			●	●		
サクサシステムエンジニアリング株式会社		●				●
サクサプレジジョン株式会社 ※1					●	
サクサプロアシスト株式会社		●	●			

※1 本店：東京都新宿区新宿 1-4-8

① 東京都港区白金 1-17-3 NBF プラチナタワー
(テナントとして入居)

② 神奈川県相模原市中央区宮下 3-14-15

③ 山形県米沢市東 1-10-71

④ 山形県米沢市八幡原 4-3146-13

⑤ 山形県米沢市中田町 1713

⑥ 青森県八戸市北インター工業団地 1-3-54

お問合せ先

サクサホールディングス株式会社 CSR 統括室
〒108-8050 東京都港区白金 1-17-3 NBF プラチナタワー
TEL：03-5791-5515 FAX：03-5791-5562 E-mail：eco@saxa.co.jp

環境管理のあゆみ

年	主な出来事
2004 (H16)	●サクサグループ発足、グループ一体となった環境マネジメントシステムを構築、運用開始 (4月)
2005 (H17)	●サクサ株式会社として ISO14001 認証取得済みの本社、相模原、米沢地区に加え、中延事業場を、また、関連事業所としてサクサシステムエンジニアリング株式会社 (青森県八戸市)、サクサテクニカルサービス株式会社 (栃木県矢板市) を拡大登録、グループ一体となった認証を取得 (3月) (注:最新の認証登録範囲は6ページに記載) ●サクサエコ製品基準制定、認定開始 (4月)
2006 (H18)	●閉鎖事業場 (目黒・中延・栃木) からのポリ塩化ビフェニル使用機器移動、届出完了 (~3月) ●ISO14001 2004年版認証へ移行 (3月) ●サクサ株式会社相模原オフィス 5トンボイラー廃止 (5月)
2009 (H21)	●サクサグループグリーン調達ガイドラインをホームページに公開 (6月)
2011 (H23) ~2012 (H24)	●CSRの一環としての環境保全活動の位置付けを明確にするため、サクサホールディングス株式会社に環境保全活動の主管部門を設置 (2011年4月)、ISO14001 認証登録企業もサクサホールディングス株式会社に変更 (2012年3月)
2012 (H24)	●サクサ株式会社米沢事業場のボイラー廃止 (11月)、大気汚染防止法ばい煙発生施設の該当施設は全廃
2013 (H25)	●サクサ株式会社米沢事業場保管の廃PCB (コンデンサ7台) について廃棄処理完了 (8月)
2015 (H27)	●サクサプレジジョン株式会社保管の廃PCB (コンデンサ1台) について廃棄処理完了 (5月) ●製品含有化学物質管理システムの更新 (9月)
2016 (H28)	●サクサ株式会社米沢事業場保管の廃PCB (安定器等汚染物2缶) について廃棄処理完了 (12月)
2017 (H29)	●ISO14001 2015年版へ移行 (4月) ●サクサ株式会社米沢事業場保管廃PCB (高圧コンデンサ) の処理完了 (5月) ●各事業場にて照明のLED化、空調機器の更新時に省エネタイプへの置換えを継続実施
2018 (H30)	●サクサテクノ株式会社第1、第2工場の屋根遮熱塗装工事完成 (9月) により省エネ化推進
2019 (R1)	●全社ノートPC更新による電子化導入により紙資料の削減

環境管理に影響を及ぼす事業環境等の変化

2019年度、サクサグループの環境管理に影響を及ぼす事業環境上の変化は次のとおりです。

環境管理上に影響を及ぼす事業環境等の変化

該当事項はありません。

対応

該当事項はありません。



サクサホールディングス株式会社
代表取締役社長

丸井 武士

パリ協定が目指す脱炭素社会を一日も早く実現するためには、企業自らが脱炭素社会への挑戦を重要な経営課題と位置付けることが強く求められているなか、サクサグループは、すべての事業分野において環境に配慮した事業活動を推進し、自然と調和した持続可能な社会の発展に貢献することを宣言しています。

地球環境問題が経営における重要課題であるとの認識を持ち、企業としての社会的責任と社会的貢献の役割を果たすため、環境経営を推進しており、環境に配慮した製品づくり、事業活動、環境管理を3つの柱とした環境目的・目標を設定し、すべての事業分野をとおして、環境・社会・経済に与える影響を考慮した事業活動を推進して、環境・社会のニーズを考慮した新規事業の創造により、環境・社会・経済の価値を向上させる取り組みを推進していきます。

サクサグループは、お客様・ビジネスパートナー様・地域社会の皆様とのコミュニケーションを大切にし、つなげる技術を核にステークホルダーの皆様との共創により、サクサグループが目指す、心地よい暮らし、つまり、安心で安全、快適で便利な環境の実現に貢献してまいります。皆様のご支援ならびにご指導、宜しくお願い申し上げます。

サクサグループ環境宣言

サクサグループは、すべての事業分野において環境に配慮した事業活動を推進し、自然と調和した持続可能な社会の発展に貢献します。



環境方針

環境宣言に基づき、次の行動指針を定め、サクサグループのひとりひとりが環境保全活動を実行します。

行動指針

1. 地球環境問題が経営における重要課題であるとの認識を持ち、企業としての社会的責任と社会的貢献の役割を果たすため、環境経営を推進します。
2. 情報通信ネットワーク機器ならびにシステム等に関わる開発、設計、製造、販売、保守その他付帯事業を展開していることを踏まえ、グループ一体となって環境マネジメントシステムを構築し、地球環境保全に取り組みます。
3. 内部環境監査およびマネジメントレビューにより環境マネジメントシステムを継続的に改善し、環境保全活動を推進します。
4. 関連する環境法規制、協定および同意した要求事項、必要に応じて定める自主基準を遵守します。
5. 事業活動、製品、サービスによる、緊急時を含む環境への影響を認識し、適切に管理することにより環境汚染の予防を図ります。
6. 環境方針達成のため、環境に配慮した製品づくり、環境に配慮した事業活動、環境管理を3つの柱とした環境目的・目標を設定し、すべての事業分野をとおして、地球温暖化防止、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、循環資源化、有害物質使用削減等に取り組みます。
7. 地域や取引先をはじめとする利害関係者とのコミュニケーションを図り、連携して環境の改善に努めます。
8. 環境方針を全従業員に周知し、環境への意識向上を図ります。

環境総括責任者

サクサグループ環境計画

環境方針に沿って計画（環境目的）を策定し、継続的改善に取り組んでいます。計画は、進捗状況および事業環境の変化等に照らして毎年見直しを行い、改訂しています。

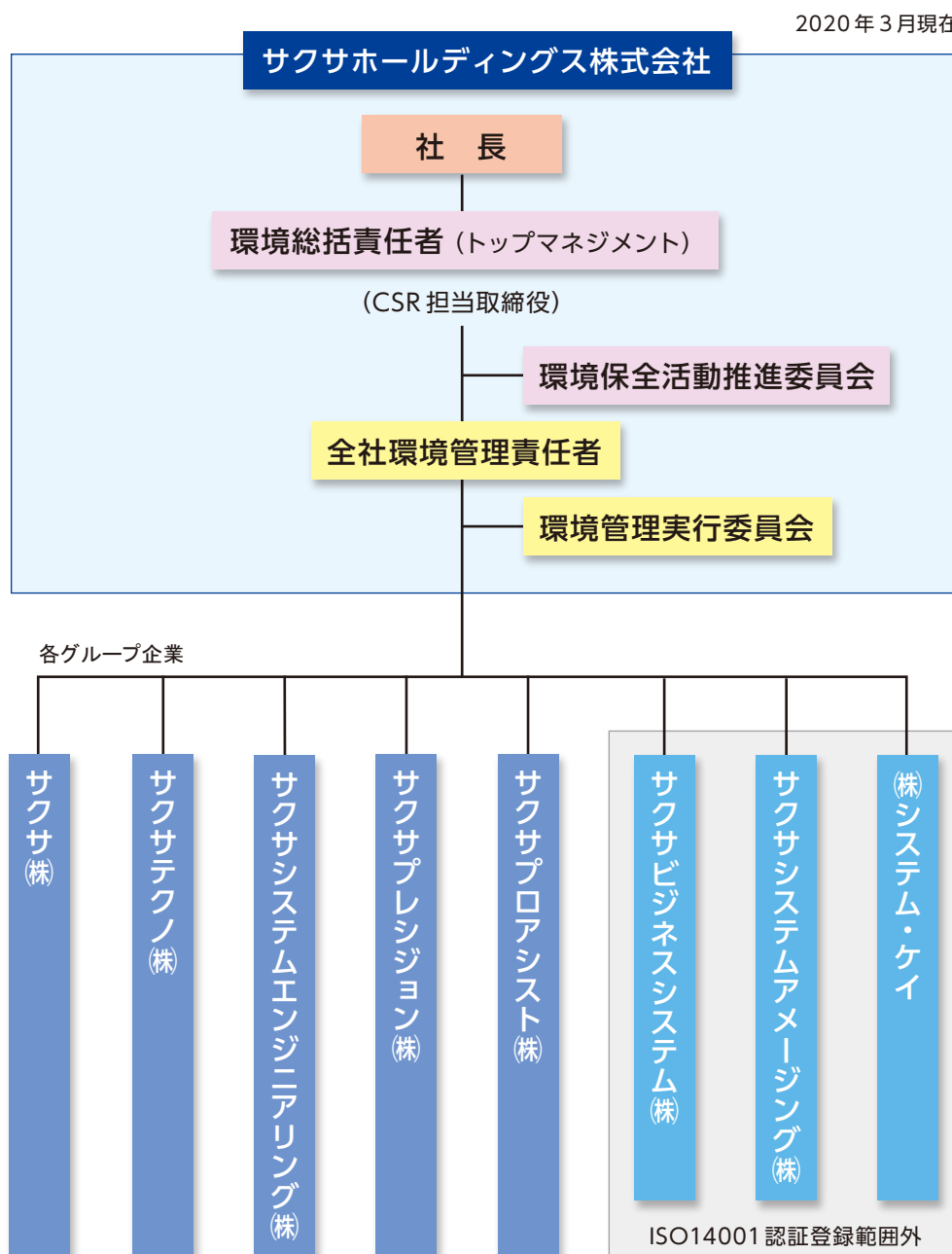
環境に配慮した製品づくり	(1) 製品含有化学物質管理 製品含有化学物質関係規制の進展への対応および運用推進 (2) 環境配慮製品の拡大・充実 環境配慮設計関連規程類の運用を通じた製品環境配慮の推進
環境に配慮した事業活動	(1) 地球温暖化防止 サクサグループ所有事業場における、エネルギー原単位の改善 (2) 廃棄物等の削減・循環資源化 ①産業廃棄物排出量原単位の改善 ②事業系一般廃棄物排出量/人の改善
環境管理	(1) 環境マネジメントシステムの向上 経営に寄与する環境マネジメントシステムへの改善

環境保全活動推進組織体制

CSR 活動の一環としてサクサグループ一体となった環境保全活動を推進するため、持株会社であるサクサホールディングス株式会社に環境保全活動推進委員会を設置し、活動を行っています。

環境保全活動推進委員会は、各グループ企業の代表を含むメンバー構成で、サクサグループにおける中期的な環境計画、年度目標その他環境保全活動における重要事項を審議するとともに、活動の総括を行う機関です。

各グループ企業は、それぞれが独立した実行単位としてグループ全体の計画、目標に沿って、また、独自の視点も加えた目標設定を行い、活動を実施します。



環境マネジメントシステム・ISO14001 認証取得状況

サクサグループでは、サクサホールディングス株式会社を登録事業者として、グループ企業を含めたISO14001 認証を取得しています。

環境マネジメントシステムの継続的改善

環境マネジメントシステム運用状況を確認し、適合性、妥当性および有効性を判断するため、年1回下期に定期内部環境監査を実施し、発見された不適合事項、改善事項について、是正、改善を行っています。また、毎年、環境マネジメントシステム認証機関による審査を受け、客観的な視点からの指摘に対する改善を行うことによって、レベルアップを図っています。年度末には、実行部門ごとに、環境目的・目標の達成

状況、法規制等の順守状況、内部環境監査の結果等をもとに環境マネジメントレビューを実施し、結果を環境総括責任者へ報告します。

報告された内容を踏まえ、グループ全体の環境保全活動を環境保全活動推進委員会で総括し、環境マネジメントシステムおよび環境に関する計画等に反映し、継続的改善につなげています。

ISO14001 認証取得状況

- 認証機関 一般社団法人 日本品質保証機構
- 登録証番号 JQA-EM0381
- 登録事業者 サクサホールディングス株式会社

■ 登録範囲

- 登録活動範囲 ボタン電話装置、カード関連機器、ネットワーク機器、セキュリティ機器、その他部品の設計・開発、製造および販売

■ 関連事業所

サクサホールディングス株式会社
サクサ株式会社（本社、相模原、米沢）
サクサテクノ株式会社
サクサシステムエンジニアリング株式会社（八戸本社、相模原）
サクサプレジジョン株式会社（米沢工場）
サクサプロアシスト株式会社（相模原、米沢）

※（ ）内は、複数の事業場・拠点がある場合における対象サイト

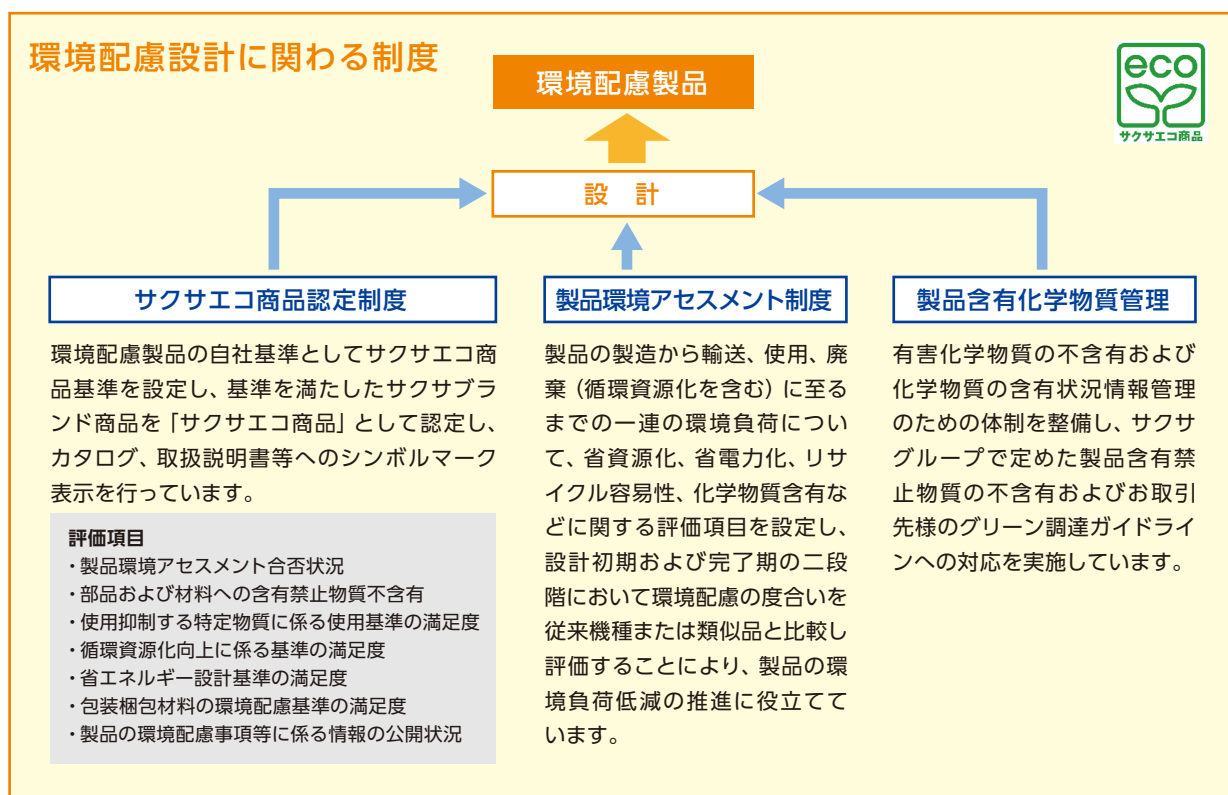
- 登録日 1999年3月19日
- 登録更新日 2020年3月19日
- 有効期限 2023年3月18日



製品の環境配慮

製品の環境配慮は、お客様や社会からの重要なニーズと考えています。

製品の設計に際して環境配慮を推進するための制度を設け、環境配慮設計に努めています。



サクサグループ グリーン調達ガイドライン

サクサグループグリーン調達ガイドラインを定め、サプライヤー様には製品含有化学物質管理で定めた含有禁止物質の不含有をお願いするとともに、化学物質含有情報について提供協力いただいております。

化学物質に関する事項はもとより、環境に配慮した企業から、環境に配慮した物品を調達するための基準を定めています。

※サクサグループグリーン調達ガイドラインは、サクサグループホームページ (<https://www.saxa.co.jp/>) の「環境への取り組み」で公表しております。

最近発表したエコ商品 サクサ株式会社

サクサ働き方改革サーバ GF1000

やがてくる深刻な労働力不足は、企業にとって大きな問題。「働き方改革」を推進することは、すべての企業にとって避けられない課題です。働き方改革サーバ GF1000 II は企業と社員のために、すぐに始められる「働き方改革」をご提供します。



GF1000 II Std



GF1000 II Pro



- お仕事快適ツール
GF1000 II は働き方改革に役立つ便利な機能を提供します。
- ビジネスチャット
SMART Message は「高セキュリティ」と「ビジネス専用」に特化したチャットです。
- Offica Log Ace
・働く時間や場所を柔軟に！
・見逃しがちな情報セキュリティ対策を Office Log Ace で実現！
- 保守サービス／機能
・5年間ハードウェア無償保証 & 駆けつけ保証
・リモート設定変更
・停電監視機能
・データ復旧サービス
- 安心・安全
大切な業務ファイルを 安心・安全に運用いただけます。

製品の環境配慮

サクサエコ商品

2020年11月現在の認定商品から主なものを紹介します。



ネットワーク

豊富なビジネスホン機能に加え、スマートフォンと連携して外出先から受信・確認できる機能を搭載

中小規模オフィス向け
ビジネスコミュニケーションシステム
PLATIA II (Std/Pro/Ult)

SIP 端末 (30 ボタン電話機)
NP520

多機能電話機 (30 ボタン電話機)
NP820



企業と社員のために、すぐに始められる「働き方改革」を提供

GF1000 II (Std/Pro)



ビジネスにさらに安心をもたらす強力な UTM

統合脅威管理アプライアンス (UTM)
SS5000 II



不正端末侵入防御、メールセキュリティ機能搭載

情報セキュリティゲートウェイ
GE1000



セキュリティ

非接触 IC カード対応
アナログ電話回線だけでなくインターネット回線接続にも対応

ホームセキュリティ送信機
SHA-5100/SHA-5100C



異常事態をしっかりと感知しスピーディに通報

ホームセキュリティ向け無線センサ
SR シリーズ



パッシュセンサ
SR-100



マグネットセンサ
SR-300



火災センサ
SR-400

携帯電話への緊急通報、メール通報、非接触 IC カード対応、キーテレホンと連動により高度で広範囲なオフィスセーフティを提供

中小規模事業所に最適な
オフィスセーフティ送信機
BS1000 送信機



P 網経由で警報や画像を転送

中大規模事業所向け
機械警備用送信機
TS-NT1003 送信機



※各製品の仕様等については、サクサグループホームページ (<https://www.saxa.co.jp/>) の「製品・システム情報」でご覧になれます。

事業活動に関する環境配慮

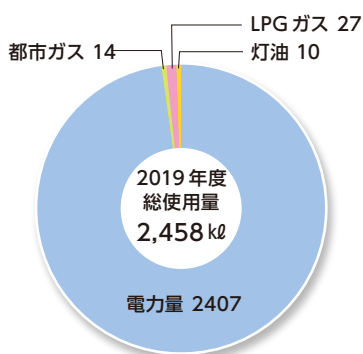
地球温暖化防止・省エネルギー

デマンド管理による電力ピークの見える化管理など、地球温暖化およびCO2削減のため、2019年度もエネルギーを効率よく使って、省エネを推進しました。各社における省エネタイプの空調機およびLED照明の採用、各種設備の点検・メンテナンスなどを実施し昨年度比

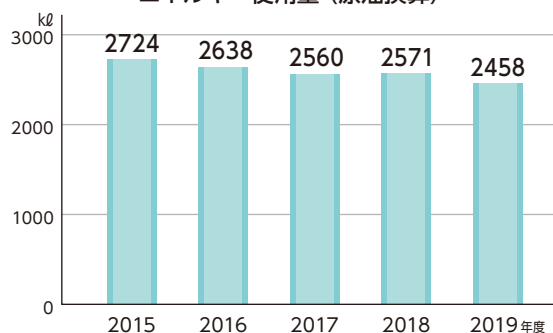
2.0%削減し、原単位で0.240kl/百万円を達成しましたが、0.235kl/百万円以下には到達せず、目標未達成になりました。

今年度は目標達成に向け、更にグループ一体となった環境活動に取り組んでいきます。

2019年度 エネルギー使用内訳



エネルギー使用量 (原油換算)



サクサグループにおいては、エネルギー使用量原油換算値集計の結果、エネルギーの使用の合理化に関する法律に定められた「特定事業者」として指定を受ける企業はありません。

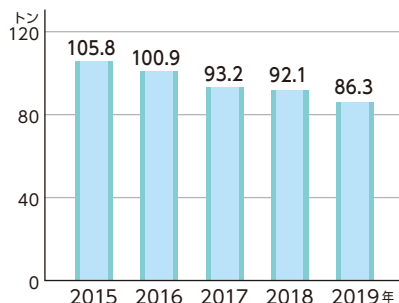
※掲載したグラフの集計範囲は、サクサグループが所有している5事業場です。
対象事業場については、4ページ「環境報告書2020について」を参照ください。
また、集計対象エネルギーには、構外を走行する車両のガソリン、軽油を含みません。

廃棄物削減・循環資源化

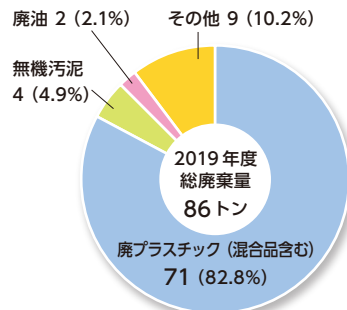
廃棄物について発生の抑制と循環化に配慮しながら、事業活動を進めています。分別の徹底、金属廃棄物の有価廃棄の継続、ランナー等の自家再生材活用による循環資源化の推進により産業廃棄物を5.8トン削減、再生古紙

化やノートPCの導入により一般事業系廃棄物を1.2トン削減し、ともに昨年の実績を下回り目標を達成することができました。

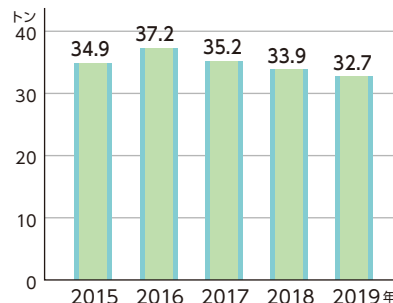
生産系事業場における産業廃棄物排出量推移



2019年度 生産系事業場産業廃棄物内訳



事業系一般廃棄物排出量の推移



※生産系事業場：サクサ株式会社米沢事業場、サクサテクノ株式会社（八幡原、第3工場）、サクサプレジジョン株式会社（米沢工場）
※産業廃棄物排出量のグラフでは、非通常的に発生する廃棄物は除いています。

※事業系一般廃棄物の集計範囲は、サクサグループが所有している5事業場。事業場については、4ページ「環境報告書2020について」を参照ください。

事業活動に関する環境配慮

化学物質管理

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）」には、事業者に対して、化学物質の自主的な管理と一定要件に該当する場合、排出量、移動量を届け出ることが定められています（PRTR制度）。

サクサグループでは、この趣旨を踏まえ適切な管理を行うとともに、可能な限りの使用抑制・削減を図っています。

2019年度の状況において、サクサグループ内ではサクサテクノ株式会社がPRTR制度の届出要件に該当することから2020年6月に届出を行いました。

サクサプレジジョン株式会社（米沢工場）は、アンチモン及び化合物を取扱っておりますが、届出基準には達しておりません。

PRTR 該当物質排出量及び移動量

届け出を行った事業所の名称	第一種指定化学物質の名称	年度別量（単位：kg）				
		2015	2016	2017	2018	2019
サクサテクノ株式会社（山形県）	アンチモン及びその化合物	60.0 ^{※1}	200.0	710.0 ^{※1}	590.00	240.0

※1 2015年度は廃棄プラスチックを一部有価処理したため減少しています。また2017年度は仕事量増加により、増加しております。

ポリ塩化ビフェニル（PCB）の管理

ポリ塩化ビフェニルは、難分解性の性状を有し、人の健康および生活環境に有害な物質であり、汚染の拡大を防止するため、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、ポリ塩化ビフェニル（以下「PCB」）廃棄物について、保管および処分の状況の届け出、期間内の処分、譲渡し・譲受けの制限などが定められています。

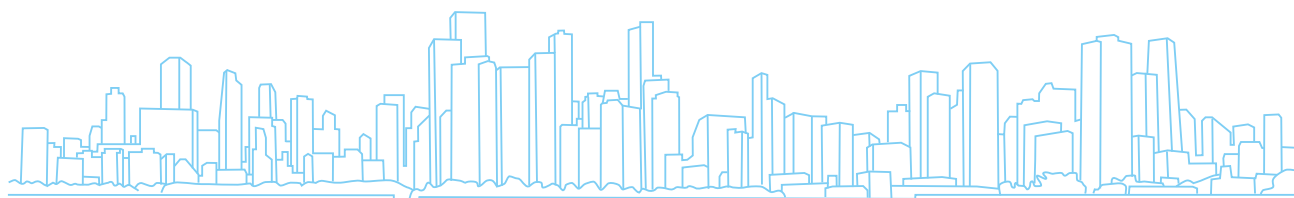
サクサグループにおいてPCB廃棄物を保管している事業場では、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の定

めに従い、PCB廃棄物の散逸、漏洩等による環境汚染が発生しないよう管理しています。

また、現在も使用中の照明用安定器（PCB使用機器）については、使用済となったときに確実に回収するよう管理しています。2020年3月31日時点において、サクサグループで保管しているPCB廃棄物は下表のとおりです。なお、処理の早期登録対象機器については、日本環境安全事業株式会社に処理登録済みです。

PCB 廃棄物保管状況（2020年3月31日時点）

廃棄物の種類	保管量	
	相模原オフィス	米沢事業場
高圧トランス	9台	0台
高圧コンデンサ	25台	0台
蛍光灯安定器	223個	0個
PCB汚染物等	0点	0点



事業活動に関する環境配慮

規制遵守状況

法律や条例により規制が定められている事項について、これを遵守し、また、リスクに応じ、規制に該当しない場合でも環境への負荷を最小限に抑えるために、規制に準じた管理を行っています。

2019年度、サクサグループの事業場において、法令・条例の基準値からの逸脱はありませんでした。

単位 dB

事業場	項目		基準値		2019年度 測定値 ^{※1}
			法令・条例の基準値	自主管理値	
相模原オフィス (神奈川県相模原市)	騒音	昼間 および 朝夕	75	70	66.0 ^{※2}
	振動	昼間 および 朝夕	70	65	<40 ^{※2 ※3}
米沢事業場 (山形県米沢市)	騒音	昼間	70	58	57.0
		夜間	55	54	55.0
	振動	昼間	65	50	<45 ^{※3}
		夜間	60	—	— ^{※4}

※1 実績値は、年度および測定ポイントの最大値を掲載。設備機器不良の場合は修復後の再測定値。

※2 夜間の操業はないため、夜間の測定はしていません。測定は、稼動中の「昼間」の時間帯に実施しています。

※3 当該測定機器の測定限界値以下。

※4 昼間、通常操業中の測定にて測定限界値以下であるため、夜間は測定していません。

緊急事態への対応

貯油施設等からの漏洩、化学物質の流出などの環境汚染に関する緊急事態を想定し、対応手順を整備するとともに、定期的に訓練を実施して、万が一の場合の影響を最小限に抑え、迅速に復旧できるように備えています。

また、このようなリスクを回避するため、日常のおよび定期的に監視を行っています。

2019年度において、環境への影響が発生する緊急事態の発生はありませんでした。

環境教育・啓蒙活動

環境保全活動に関連し、自覚教育（eラーニングの活用等）や啓蒙活動を継続的に実施し、環境意識の定着・向上を図っています。

新入社員、新任管理職研修のプログラムには環境に関する単元を組み込むとともに、業務用車両運転資格登録者への安全運転講習会におけるエコドライブの意識づけ、製品含有化学物質管理に関する説明会受講などにより必要な知識の習得を行っています。



2019年度環境目標達成状況

環境に配慮した製品づくり

環境目標	達成状況	達成状況等
(1) 製品含有化学物質管理 製品含有化学物質規制の進展への対応および運用改善 RoHS2管理の運用定着化および改善		RoHS2 対応製品への推進を図り計画の 6 製品とその他エンハンス製品等、計 15 製品に対応した。
(2) 環境配慮製品の拡大・充実 環境配慮設計関連規程類の運用を通じた製品環境配慮の推進 製品の省資源化によるコストダウン		新規開発製品において、製品のコンパクト化、電子部品の削減により、コストダウンを実現した。

環境に配慮した事業活動

環境目標	達成状況	達成状況等
(1) 地球温暖化防止 2013年度～2018年度のエネルギー原単位 ^{※1} を2012年度に対して年平均1%以上改善する(改善率5.9%以上) (サクサグループ所有 5事業場)		2019年度目標：原単位 0.235kl / 百万円 ▶2019年度実績 0.240kl / 百万円 未達成 (2012年度からの改善率 6.8%→6.0%) ※原油換算使用量 2018年度比 2.0%削減 ※使用量：2012年度 3,146kl ▶2019年度 2,446kl 22.2%削減 ※付加価値：2012年度 12,484百万円 ▶2019年度 10,183百万円 18.4%減
(2) 廃棄物等の削減・循環資源化 ①生産事業場における産業廃棄物排出量原単位 ^{※2} を前年度より改善		目標値 2056kg / 百万円未満 (2018年度実績) ▶実績 1896kg / 百万円 (改善率 7.8%)
②事業系一般廃棄物排出量 / 人 ^{※3} を前年度より改善 (サクサグループ所有 5事業場)		目標値 2781kg / 人未満 (2018年度実績) ▶実績 2663kg / 人 (改善率 4.2%)

環境管理

環境目標	達成状況	達成状況等
(1) 環境マネジメントシステムの向上 経営に寄与する環境マネジメントシステムへの改善		ISO14001 2015年度版の改善と定着 ・2019年10月に 部門実行責任者、内部監査員および内部監査員候補に対し集合教育を実施。 (目的；既存監査員のレベルアップ、新任監査員の養成) ・2020年2月に JQA 更新審査を受審し、改善指摘事項無し。システムの有効性が認められた。 ※グッドポイント 3件

※1 エネルギー使用量(原油換算値) ÷ 付加価値

※2 産業廃棄物排出量 ÷ 付加価値

※3 事業系一般廃棄物排出量 ÷ 従業員数

・付加価値=売上高-外部購入費(原材料費等)

社会貢献活動を通じた環境への寄与

サクサグループでは、事業活動に直結した環境保全活動とあわせて、企業の社会的責任として、社会や地域に貢献できる環境活動も推進しています。

各事業場では、近隣企業とともに行う清掃活動への参加をおよび地域の美化に努めています。



近隣企業合同清掃（本社）集合写真



近隣企業合同清掃（相模原オフィス）集合写真



清掃の集合写真（米沢事業所）



春の美化写真（サクサテクノ株式会社）



夏の美化写真（サクサテクノ株式会社）